

仙台市立仙台工業高等学校 [全日制課程 (建築科)] のスクール・ポリシー

◎仙台市立仙台工業高等学校が取り組んでいることや目指すもの

取組方針：（「仙台市教育構想 2026」より）

- 工業教育の基礎・基本の充実や資格取得の推進を図るとともに、地域や産業界との連携によるデュアルシステムを通じ、実践的な技能・技術の獲得と確かな職業観の醸成に取り組みます。「デュアルシステム」：若年者向けの実践的な教育・職業能力開発の仕組みとして、企業での実習と学校での講義等の教育を組み合わせることで実施することにより若者を一人前の職業人に育てる仕組み。

学校教育目標：

- AI にはできない「考える力」と「新しいものを生む力」を身に付け、自分の技術で未来の社会を切り拓いていく人を育てます。
- ものづくりの楽しさと最先端の技術を基礎から学び、中学校や企業から信頼される「選ばれ続ける工業高校」として、未来のプロフェッショナルを送り出します。

1 グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います。）

建築科では、社会で信頼される技術者として必要な責任感や正しい判断力（倫理観）を身に付けた生徒の育成を目指します。

- 基礎からしっかりと技術を身に付け、変化する社会にも対応できる力
- 課題を自ら見つけ、主体的に考えて解決していく力
- 社会との関わりの中で、学び続けながら成長していく力

2 カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）

基礎を大切にしながら、最先端の技術で社会とつながる学びを行います。

- 自分の部屋から未来の街まで、みんなが快適に過ごせる空間をデザインする「センス」と「技術」を磨きます。基礎からステップアップし、実際にカタチにする力を身につけます。
- デジタル技術や最新の設計ソフト（BIM）を使いこなし、プロの現場で役立つ最先端の実践的な技術を身につけます。
- 学校や地域の困りごとを解決する「課題研究」に取り組みます。学科の枠をこえて仲間と協力し、社会で通用するチームワークや伝える力を身につけます。
- プロの技術者から直接教わったり、企業での職業体験やコンテストに挑戦したりすることで、将来の夢をより確かなものにしていきます。

3 アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）

- 建物やデザインに興味を持ち、その仕組みや役割への理解を深めながら、専門的な技術や資格の習得を目指し、将来は街づくりを通して社会に積極的に貢献しようとする意欲のある生徒を求めています。
- 主体的に考えて判断し、仲間との協働の中で、積極的に課題の解決に取り組むとともに、困難を自ら乗り越え、粘り強く最後までやり遂げようとする意欲と責任感を備えた生徒を求めています。

学校名	仙台市立仙台工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	建築科	募集定員	30人

第一次募集 (選抜方法等)	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜		
	第2志望とすることができる学科・コース	機械科、電気科、土木科、情報科		
	共通選抜			
	募集人数	18人 (募集定員の 60%)		
	学力検査:調査書	6 : 4		
	学力検査点 (500点満点) と調査書点 (195点満点) の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。			
	特色選抜			
	募集人数	12人 (募集定員の 40%)		
	配点	1 調査書	292.5点	合計 542.5点
		2 学力検査	250点	
選抜方法		<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する12人の200%の範囲に含まれる者(24人)を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項(評定以外の特別活動の記録などの資料)も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし			

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集 (選抜方法等)	配点	1 調査書	225点	合計 600点
		2 学力検査	300点	
	3 面接	75点		
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。		

仙台市立仙台工業高等学校 [全日制課程 (機械科)] のスクール・ポリシー

◎仙台市立仙台工業高等学校が取り組んでいることや目指すもの

取組方針：（「仙台市教育構想 2026」より）

- 工業教育の基礎・基本の充実や資格取得の推進を図るとともに、地域や産業界との連携によるデュアルシステムを通じ、実践的な技能・技術の獲得と確かな職業観の醸成に取り組みます。「デュアルシステム」：若年者向けの実践的な教育・職業能力開発の仕組みとして、企業での実習と学校での講義等の教育を組み合わせることで実施することにより若者を一人前の職業人に育てる仕組み。

学校教育目標：

- AI にはできない「考える力」と「新しいものを生む力」を身に付け、自分の技術で未来の社会を切り拓いていく人を育てます。
- ものづくりの楽しさと最先端の技術を基礎から学び、中学校や企業から信頼される「選ばれ続ける工業高校」として、未来のプロフェッショナルを送り出します。

1 グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います。）

機械科では、社会で信頼される技術者として必要な責任感や正しい判断力（倫理観）を身に付けた生徒の育成を目指します。

- 基礎からしっかりと技術を身に付け、変化する社会にも対応できる力
- 課題を自ら見つけ、主体的に考えて解決していく力
- 社会との関わりの中で、学び続けながら成長していく力

2 カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）

- 「ものづくり分野」とその自動化・省力化に欠かせない「メカトロニクス分野」の知識と先端技術を学びます。
- 「ものづくり分野」では、機械加工、溶接、鋳造・鍛造、工作法、設計、製図等を学びます。
- 「メカトロニクス分野」では、コンピュータ制御、シーケンス制御、ロボット制御、電気・電子等を学びます。
- 3年次には、ものづくり分野である「機械系」とメカトロニクス分野である「制御系」に分かれて学ぶことで、更に知識と技術を深め、産業界におけるそれぞれの分野において活躍できるエンジニアを目指します。

3 アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）

- 自動車やロボットをはじめとする機械の仕組み、ものづくりや専門的な学びに関心を持ち、自己の成長を目指し努力を惜しまない生徒を求めています。
- 主体的に考えて判断し、仲間との協働の中で、積極的に課題の解決に取り組むとともに、困難を自ら乗り越え、粘り強く最後までやり遂げようとする意欲と責任感を備えた生徒を求めています。

学校名	仙台市立仙台工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	機械科	募集定員	60人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	建築科、電気科、土木科、情報科	
	共通選抜		
	募集人数	36人（募集定員の 60 %）	
	学力検査:調査書	6 : 4	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。		
	特色選抜		
	募集人数	24人（募集定員の 40 %）	
	配点	1 調査書 292.5点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.5倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を3.0倍にする	合計 542.5 点
		2 学力検査 250点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を0.5倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する24人の200%の範囲に含まれる者（48人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 600 点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
		3 面接 75点 1 形態:個人面接 2 時間:10分程度 3 内容:(1)志望理由 (2)進路希望 (3)入学後の学習や部活動 4 観点:(1)態度 25点 (2)表現力 25点 (3)関心・意欲 25点	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

仙台市立仙台工業高等学校 [全日制課程 (電気科)] のスクール・ポリシー

◎仙台市立仙台工業高等学校が取り組んでいることや目指すもの

取組方針：（「仙台市教育構想 2026」より）

- 工業教育の基礎・基本の充実や資格取得の推進を図るとともに、地域や産業界との連携によるデュアルシステムを通じ、実践的な技能・技術の獲得と確かな職業観の醸成に取り組みます。「デュアルシステム」：若年者向けの実践的な教育・職業能力開発の仕組みとして、企業での実習と学校での講義等の教育を組み合わせることで実施することにより若者を一人前の職業人に育てる仕組み。

学校教育目標：

- AI にはできない「考える力」と「新しいものを生む力」を身に付け、自分の技術で未来の社会を切り拓いていく人を育てます。
- ものづくりの楽しさと最先端の技術を基礎から学び、中学校や企業から信頼される「選ばれ続ける工業高校」として、未来のプロフェッショナルを送り出します。

1 グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います。）

電気科では、社会で信頼される技術者として必要な責任感や正しい判断力（倫理観）を身に付けた生徒の育成を目指します。

- 基礎からしっかりと技術を身に付け、変化する社会にも対応できる力
- 課題を自ら見つけ、主体的に考えて解決していく力
- 社会との関わりの中で、学び続けながら成長していく力

2 カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）

○電気の基本から産業界で求められる専門知識までを体系的に学び、地元企業と連携した実習を通して、プロとして活躍するための確かな実践力を身につけます。

○生活に欠かせない電気に関する国家資格を取得し、人々の暮らしを支え、社会の安全を守るために必要な知識・技能をしっかりと習得します。

○プログラミングや電子回路、半導体、AI（人工知能）など、これからのデジタル社会を支える最先端のテクノロジーを学び、次世代のエンジニアとして活躍できるスキルを自分のものにします。

○企業や大学と連携し、プロから直接教わる授業や職場体験を行います。現場のリアルな空気に触れることで、教室だけでは得られない「生きた技術」を学びます。

○難関資格への挑戦や、ものづくりコンテスト（電気工事部門）などへの出場を通じて、自分の限界に挑戦します。仲間と切磋琢磨しながら、学びをより高いレベルへと引き上げます。

3 アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）

○電気エネルギーや最新の電子回路、電気工事などのものづくりや専門的な学びに興味や関心を持ち、自己の成長を目指して努力を継続できる姿勢を重視します。将来は「電気の力」で暮らしを豊かにしたいという生徒を求めています。

○主体的に考えて判断し、仲間との協働の中で、積極的に課題の解決に取り組むとともに、困難を自ら乗り越え、粘り強く最後までやり遂げようとする意欲と責任感を備えた生徒を求めています。

学校名	仙台市立仙台工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	電気科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	建築科、機械科、土木科、情報科	
	共通選抜		
	募集人数	24人（募集定員の 60 %）	
	学力検査:調査書	6 : 4	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。		
	特色選抜		
	募集人数	16人（募集定員の 40 %）	
	配点	1 調査書 292.5点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.5倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を3.0倍にする	合計 542.5 点
		2 学力検査 250点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を0.5倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の200%の範囲に含まれる者（32人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 600 点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
		3 面接 75点 1 形態:個人面接 2 時間:10分程度 3 内容:(1)志望理由 (2)進路希望 (3)入学後の学習や部活動 4 観点:(1)態度 25点 (2)表現力 25点 (3)関心・意欲 25点	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

仙台市立仙台工業高等学校 [全日制課程 (土木科)] のスクール・ポリシー

◎仙台市立仙台工業高等学校が取り組んでいることや目指すもの

取組方針：（「仙台市教育構想 2026」より）

○工業教育の基礎・基本の充実や資格取得の推進を図るとともに、地域や産業界との連携によるデュアルシステムを通じ、実践的な技能・技術の獲得と確かな職業観の醸成に取り組みます。「デュアルシステム」：若年者向けの実践的な教育・職業能力開発の仕組みとして、企業での実習と学校での講義等の教育を組み合わせることで実施することにより若者を一人前の職業人に育てる仕組み。

学校教育目標：

- AI にはできない「考える力」と「新しいものを生む力」を身に付け、自分の技術で未来の社会を切り拓いていく人を育てます。
- ものづくりの楽しさと最先端の技術を基礎から学び、中学校や企業から信頼される「選ばれ続ける工業高校」として、未来のプロフェッショナルを送り出します。

1 グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います。）

土木科では、社会で信頼される技術者として必要な責任感や正しい判断力（倫理観）を身に付けた生徒の育成を目指します。

- 基礎からしっかりと技術を身に付け、変化する社会にも対応できる力
- 課題を自ら見つけ、主体的に考えて解決していく力
- 社会との関わりの中で、学び続けながら成長していく力

2 カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）

土木に必要な基礎から最先端技術まで、街を創る「実践的な学び」を行います。

- 基礎力と専門性の習得： 測量や施工の基本から、インフラを支え災害に強い街を創る高度な専門知識と技能までを幅広く身に付けます。
- 最先端技術とキャリア形成： 企業や大学との連携、現場見学やインターンシップを通じて「生きた技術」に触れ、自分に適した進路を見に付けます。
- 果敢な挑戦と実践： 測量士補試験・2級土木施工管理技士試験やコンテストへの挑戦、課題研究でのものづくりを通じ、仲間と切磋琢磨しながら技術力を高めます。
- 社会を生き抜く人間力の育成： 現場で不可欠なチームワークや「プレゼン能力」を磨き、技術力と共に社会で活躍できる総合的な人間力を育てます。

3 アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）

- 街づくりへの情熱と、暮らしを守る意欲がある生徒 地図に残る仕事や最新技術に興味を持ち、インフラ整備を通じて人々の命と暮らしを守りたいと願う生徒。
- 主体的に考えて判断し、仲間との協働の中で、積極的に課題の解決に取り組むとともに、困難を自ら乗り越え、粘り強く最後までやり遂げようとする意欲と責任感を備えた生徒を求めています。

学校名	仙台市立仙台工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	土木科	募集定員	30人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	建築科、機械科、電気科、情報科	
	共通選抜		
	募集人数	18人（募集定員の 60 %）	
	学力検査:調査書	6 : 4	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。		
	特色選抜		
	募集人数	12人（募集定員の 40 %）	
	配点	1 調査書 292.5 点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.5倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を3.0倍にする	合計 542.5 点
		2 学力検査 250 点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を0.5倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する12人の200%の範囲に含まれる者（24人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225 点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 600 点
		2 学力検査 300 点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
		3 面接 75 点 1 形態:個人面接 2 時間:10分程度 3 内容:(1)志望理由 (2)進路希望 (3)入学後の学習や部活動 4 観点:(1)態度 25点 (2)表現力 25点 (3)関心・意欲 25点	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	

仙台市立仙台工業高等学校 [全日制課程 (情報科)] のスクール・ポリシー

◎仙台市立仙台工業高等学校が取り組んでいることや目指すもの

取組方針：（「仙台市教育構想 2026」より）

○工業教育の基礎・基本の充実や資格取得の推進を図るとともに、地域や産業界との連携によるデュアルシステムを通じ、実践的な技能・技術の獲得と確かな職業観の醸成に取り組みます。「デュアルシステム」：若年者向けの実践的な教育・職業能力開発の仕組みとして、企業での実習と学校での講義等の教育を組み合わせることで実施することにより若者を一人前の職業人に育てる仕組み。

学校教育目標：

- AI にはできない「考える力」と「新しいものを生む力」を身に付け、自分の技術で未来の社会を切り拓いていく人を育てます。
- ものづくりの楽しさと最先端の技術を基礎から学び、中学校や企業から信頼される「選ばれ続ける工業高校」として、未来のプロフェッショナルを送り出します。

1 グラデュエーション・ポリシー（卒業までに生徒にこのような力を養います。）

情報科では、社会で信頼される技術者として必要な責任感や正しい判断力（倫理観）を身に付けた生徒の育成を目指します。

- 基礎からしっかりと技術を身に付け、変化する社会にも対応できる力
- 課題を自ら見つけ、主体的に考えて解決していく力
- 社会との関わりの中で、学び続けながら成長していく力

2 カリキュラム・ポリシー（このような学びを行います。）

- プログラミングやネットワークなどの基礎から、AI・DX などの最新技術までを体系的に学習します。企業や大学と連携した実習や開発体験を通して、社会で役立つ実践的な IT 技術や問題解決力を身に付けます。
- 資格取得やプログラミングコンテストへの挑戦を通して、専門的な知識と技能を高めます。また、「フリーアクティビティ」などの探究活動では、自分の興味・関心に応じた研究やものづくりに取り組み、仲間と協力しながら主体的に学びを深めます。
- 企業の専門家によるサポートやプレゼンテーション活動を通して、自分の考えを論理的に伝える力やコミュニケーション能力を育成します。IT 技術だけでなく、社会で必要となる協働する力やキャリアを考える力を養い、将来の進路実現につなげていきます。

3 アドミッション・ポリシー（このような生徒を求めています。）

- プログラミングや AI などの新しい技術に興味を持ち、ものづくりや専門的な学びに積極的に取り組みながら、自己の成長を目指して努力を継続できる姿勢を重視します。
- 主体的に考えて判断し、仲間との協働の中で、積極的に課題の解決に取り組むとともに、困難を自ら乗り越え、粘り強く最後までやり遂げようとする意欲と責任感を備えた生徒を求めています。

学校名	仙台市立仙台工業高等学校	課程	全日制
学科 (コース・部)	情報科	募集定員	40人

第一次募集（選抜方法等）	選抜順序	共通選抜 → 特色選抜	
	第2志望とすることができる学科・コース	建築科、機械科、電気科、土木科	
	共通選抜		
	募集人数	24人（募集定員の 60 %）	
	学力検査:調査書	6 : 4	
	学力検査点（500点満点）と調査書点（195点満点）の満点を原点とした相関図を用いて選抜する。相関図での学力検査点と調査書点の比重は6 : 4とする。		
	特色選抜		
	募集人数	16人（募集定員の 40 %）	
	配点	1 調査書 292.5点 国語、数学、社会、英語、理科 : 全学年の評定を1.5倍にする 音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を3.0倍にする	合計 542.5 点
		2 学力検査 250点 国語、数学、社会、英語、理科 : 得点を0.5倍にする	
選抜方法	<ul style="list-style-type: none"> 審査は、学力検査点、調査書点の合計点上位の者から、特色選抜で選抜する16人の200%の範囲に含まれる者（32人）を対象として行う。 学力検査点と調査書点を合計した点数を基に、調査書の記載事項（評定以外の特別活動の記録などの資料）も用いて、総合的に審査し、選抜する。 		
面接・実技・作文のうち実施するもの	なし		

社会人特別選抜	無
----------------	---

第二次募集（選抜方法等）	配点	1 調査書 225点 国語、数学、英語 : 全学年の評定を1.0倍にする 社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術家庭 : 全学年の評定を2.0倍にする	合計 600 点
		2 学力検査 300点 国語、数学、英語 : 各教科100点満点	
		3 面接 75点 1 形態:個人面接 2 時間:10分程度 3 内容:(1)志望理由 (2)進路希望 (3)入学後の学習や部活動 4 観点:(1)態度 25点 (2)表現力 25点 (3)関心・意欲 25点	
	選抜方法	上記「配点」を基に、総合的に審査し、選抜する。	